

優秀賞

Voi-DEX (なきごえあつめゲーム)

菊池 拓明 (会社員：鹿児島県)

Voi-DEX (なきごえあつめゲーム) このゲームはスマートフォンの録音機能を使った鳴き声図鑑ゲームアプリです。スマホで鳥や動物、虫などの鳴き声を録音すると、その声は何の動物のものか、データベースから図鑑が表示されて教えてくれます。プレイヤーがその生き物を自ら発見し、鳴き声を登録するまでその図鑑は白紙です。つまり、単なる便利な「調べものツール」ではなく、プレイヤーが自ら図鑑を作っていくという「物語」が付与されることで、プレイヤーの積極性、探究心を刺激します。

「いつも姿は見えないけれど鳴き声だけよく聴こえてくるあの鳥は何？」という場合にも使えます。身の回りにいる野鳥や動物についてすぐに調べられる便利なアプリであると同時に、その生き物について興味を持ち、意外な習性などの知識を得るきっかけにもなります。ゲームのフィールドが現実世界なので外を出歩く機会が増え、健康にも良いでしょう。

テクノロジーは Shazam (メロディーを歌うと何の音楽か教えてくれるアプリ) を応用することと人工知能 (AI) が可能にします。膨大な生き物の鳴き声データベースを作り、そこからプレイヤーが録音した鳴き声に似ている動物を AI が割り出します。

ゲームデザインは「いかにも教育目的」のような地味な雰囲気では決してなく、ポケモン GO のようなスタイリッシュさや、遊び心のある図鑑説明にデザインし、子どもから大人まで幅広い層に受け入れられるようシンプルかつポップなゲームにします。

このゲームが実現すれば、動物や虫が好きな子どもたちが増え、現実世界がそのまま図鑑集めゲームのフィールドにもなる多層的な視点を持つことが出来るでしょう。それだけでなく、プレイヤーが集める生き物の鳴き声データベースがそのまま生物学における貴重な資料となり、世界中の誰もがゲームをプレイすることによって学術的にも価値のあるグローバルインデックスの制作に協力することが出来るでしょう。